学校番号	3019

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	プログラミング	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	商業７２５　「プログラミング　～マクロ言語～」（実教出版）						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

各種ソフトウェアを活用し，実習に積極的に取り組み，適切なプログラムや処理などを考察できる。また，様々なソフトウェアと連携したプログラムやシステムが作成でき，多様な機能などを理解する。

2　学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識および技術】

プログラムと情報システムの開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び，企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プログラムと情報システムの開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身につけようとしている。	企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び，企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報システムとプログラミング	① 情報システムの重要性 ② プログラム言語の種類と特徴 ③ プログラミングの手順	a: 情報システムとプログラミングの概要について理解するとともに，関連する技術・システムの活用例を理解できたか。 b: 情報システムとプログラミングの意義と課題について，企業活動の改善と関連づけて，プログラム言語の種類と特徴を理解できたか。 c: 情報システムの概要とプログラミングについて自ら学び，企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	提出課題
	アルゴリズム	① アルゴリズムの表現技法 ② 基本的なアルゴリズム ③ 応用的なアルゴリズム	a: アルゴリズムについて理解するとともに,問題解決のための効率のよい処理手順をフローチャートの作成を通して考えることができたか。 b: 繰り返しや集計など基本的なアルゴリズムについて理解し，手続き型言語を用いて問題解決のための効率のよいプログラムを作成する技術を身に付ける。 c:応用的なアルゴリズムについて理解し,問題解決のための効率のよいプログラムを作成する技術を身に付けることができたか。	小テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート

2学期	プログラムと情報システムの開発	① 情報システム開発の手法と手順 ② プロジェクト管理 ③ プログラムによる企業活動の改善	a: プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解するとともに，関連する技術を身につけている。 b: 企業活動の現状を分析し，どのようなプログラムを作成すればよいか理解している。 c: プログラムと情報システムの開発について自ら学び，企業活動の改善に対する要求を踏まえ，適切なプログラムと情報システムの開発に主体的に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出 観察
	情報システムの開発演習	① Web ページ作成の基礎 ② スタイルシートの活用 ③ データベースとの連携	a: HTML と CSS に関する記述方法について，基礎的な技法を理解し，関連する技術を身に付けている。 b: データベースに関する操作方法について，基礎的な技法を理解し，システムの構築方法を身に付けている。 c: HTML 関係について興味を持ち，各種 Web ページ制作時の役割や構成要素などについて理解できたか。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出 振り返りシート

3学期	情報システムの開発演習	① 携帯型情報通信機器用ソフトウェアの活用 ② オブジェクト指向型言語の利用	a: クラウド技術を活用したアプリ開発プラットフォームを用いて，スマートフォン・タブレット向けアプリの開発方法について，基礎的な技法を理解し，構築方法について身に付けている。 b: オブジェクト指向の考え方を踏まえたデータの入出力，演算方法などについて理解し、オブジェクト指向型言語を利用して基本的なプログラムを作成できる。 c: 各種ソフトウェアを活用し，実習に積極的に取り組み，適切なプログラムや処理などを考察できるか。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度